

# 中野区弥生町三丁目プロジェクト

## 空き地の新たな活用法の検討

### 活動地域

東京都中野区弥生町三丁目周辺地区

### 活動期間

2016年～継続中

### 活動体制

工学院大学野澤研究室  
UR都市機構  
川島商店街振興組合

### 活動キーワード

# 木造密集市街地 # 公共空間の活用  
# 商店街の活性化 # 防災 # 災害対策

### 所属メンバー

M1 守山真司  
  
B4 石月柊汰 井上沙宮良 今西堅斗  
岸川寛菜 藤井柚伎 芳澤翔太  
  
B3 飯久保蓮 佐々木珠生 並木勇吾  
本山知弥 若山航



## プロジェクト概要

中野区弥生町三丁目の空き地活用の検討から始まったプロジェクト。UR都市機構、川島商店街振興組合の協力のもと、空き地の活用や木造密集市街地の対策として防災まちづくりに関する活動を行っている。近年では商店街の活性化や災害対策・防災などを目的とした活動が中心になっている。年数回のイベントの実施や、通年でのまちなか黒板の運営など多岐に渡る活動を行っている。多様な活動や多くの関係者との関わりを通して、空き地活用や防災に関する知識を得ることを目指している。



## 活動経緯

弥生町三丁目周辺の防災整備事業を行う際にUR都市機構が取得した従前居住地の代替地を対象に空間活用を行ってきた。これまでの活動は空き地空間の利活用を行ってきたが、安全上の理由から敷地の前面の利用に変更となった。4年前からからは「まちなか黒板」を敷地の前面に設置し自由な利用と学生側が仕掛ける複数のアクションを行っている。近年では、「まちなか黒板」の活用に加え、ぼうさい春市・夏市などの防災に関するイベントを関係者を拡大して実施している。

## これまでの活動

2016

対象地の特性を把握するための現地調査や、空地の活用方法を学習するための事例研究を行った。

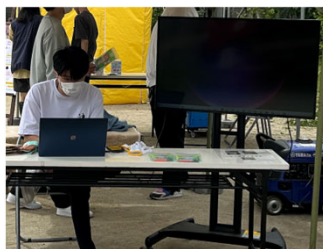
2017  
2023

川島商店街主催の行灯祭への参加や謎解きまちあるき、まちなか黒板の活用など多くの活動を行った。

2024

2年連続での防災イベント「ぼうさい春市」を規模を拡大して行ったほか、初の試みとしてクリスマスWSを実施した。

## 活動の様子



## 今年度の活動内容

2024年は、2年連続となる防災イベント「ぼうさい春市」と初の試みとして「クリスマスWS」を実施した。ぼうさい春市では、地域の防災意識の向上に努めた。クリスマスWSでは、住民が商店街に求めている機能について調査を行った。両イベントとも想定以上の参加者に来ていただき、有意義なイベントとなった。

## ぼうさい春市の実施

ぼうさい春市では、「避難マップの作成」「段ボールベッドの展示」「パネル展示」「避難所備品の展示」「防災バッグの紹介」など多岐にわたる企画を実施した。UR都市機構・中野区が中心となっているこのイベントも担い手を住民に移行しつつあり、地域の防災意識の向上や災害時の住民同士の助け合いに寄与していると考えられる。研究室としても、イベントの規模や関係者を拡大して実施することで、より多くの知見を得ることができた。



## クリスマスWSの開催

クリスマスWSではスノードームの作成とまちなか黒板を活用した「商店街に欲しいものアンケート」を実施した。想定以上の参加者が見え、住民が地域に求めている機能の把握が出来たイベントとなった。



## まちなか黒板の活用

2024年も、日常からクリスマスWS等のイベント時に至るまでまちなか黒板を活用した。地域に根付いた機能になっており、クリスマスWSでは盛大なクリスマスツリーの着飾った。



## 来年度の活動予定

### 【ぼうさい春市の実施】

2025年も「ぼうさい春市」を行う予定である。過去2年間の経験を活かし、地域住民の更なる防災意識の向上に寄与したい。

### 【空き地の有効活用】

クリスマスWSや昨年度までのアンケート等により、住民が商店街に求めているものが分かってきたため、それを模したイベントを実施したい。

### 【まちなか黒板の更なる活用】

地域住民の認知度も高まっている「まちなか黒板」であるが、更なる可能性を持っていると考えるため、活用法の再検討を行いたい。